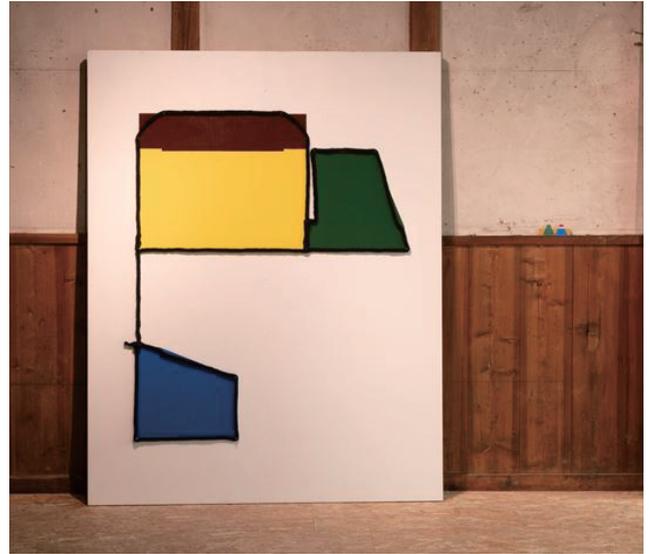


グッズ・バイ
Goods-by

KUNST ARZT では、2年振り、8度目となる前田真喜の個展を開催します。前田真喜は、ポップで暖かみのある“思考のカタチ”を生み出すアーティストです。これまでも日常的に見慣れたモノの違う表情を引き出してきました。

本展では、お菓子の空き箱など、消費するものの傍らにあるものをモチーフにして、カーブミラーなど屋外のなんでもない人工物のカタチと重ね合わせる構成です。私物と公共物、そしてスケール変換を通して、既視感を揺さぶられてください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



1992年 愛知県生まれ
2013年 京都嵯峨芸術大学 短期大学部
美術分野 現代アート領域 卒業

個展

2013年 カタチをつむ (KUNST ARZT / 京都)
2014年 SAMPLE (KUNST ARZT / 京都)
2015年 clauset (KUNST ARZT / 京都)
2017年 TAIKU2 / タイクツ (KUNST ARZT / 京都)
2019年 ちよ (KUNST ARZT / 京都)
2019年 cf. PARK (N-MARK B1 / 愛知)
2020年 組み立て式 (KUNST ARZT / 京都)
2022年 パタン パタン (KUNST ARZT / 京都)

グループ展

2011年 アート亀山 (三重)
2012年 ONE ROOM 12 (京都嵯峨芸術大学)
2012年 絵画道場 INDEX 2012 (京都嵯峨芸術大学)
2012年 CIRCULATION 4 (京都嵯峨芸術大学)
2013年 one room (京都嵯峨芸術大学)
2013年 Play (京都嵯峨芸術大学)
2014年 ONSA (Black bird White bird / 京都)
2014年 sagabees (SEWING GALLERY / 大阪)
2017年 ウォーホル美術 (KUNST ARZT / 京都)
2017年 sol nu 一つ黎明 一第1章 この風の生まれたところー
(嵯峨美術大学 嵯峨美術短期大学 附属ギャラリー アートスペース嵯峨)
2023年 満ちている空き地 (アトリエみつしま 1F Sawa-Tadori / 京都)
2024年 広がり灯し (KOBE STUDIO Y3 4F ギャラリー / 兵庫)

HELLO / 2023 / 木製パネルにペンキ、毛糸、針金、木棒、丸シール / 180.0×140.0cm (画像左)
M / 2023 / 木片、空き箱(部分)に着彩、折り紙、マスキングテープ / 4.5×12.0cm(画像右)
撮影: 寺岡海

展覧会コンセプト

トイレットペーパーや食品ラップが巻かれていた芯材や、フルーツにかぶさっていたアミアミ、綿棒を支えていた台紙などなど、使われたり食べられるもののかたわらでひそかに存在していたものたちが残されて呆然と転がっている。その飾り気のないかたちがひとつひとつ起き上がり組み立っていき、たちまちイメージの中を自在に行き交うのを想像する。

2024年10月29日(火)から11月3日(日)

12:00から18:00

会場: KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

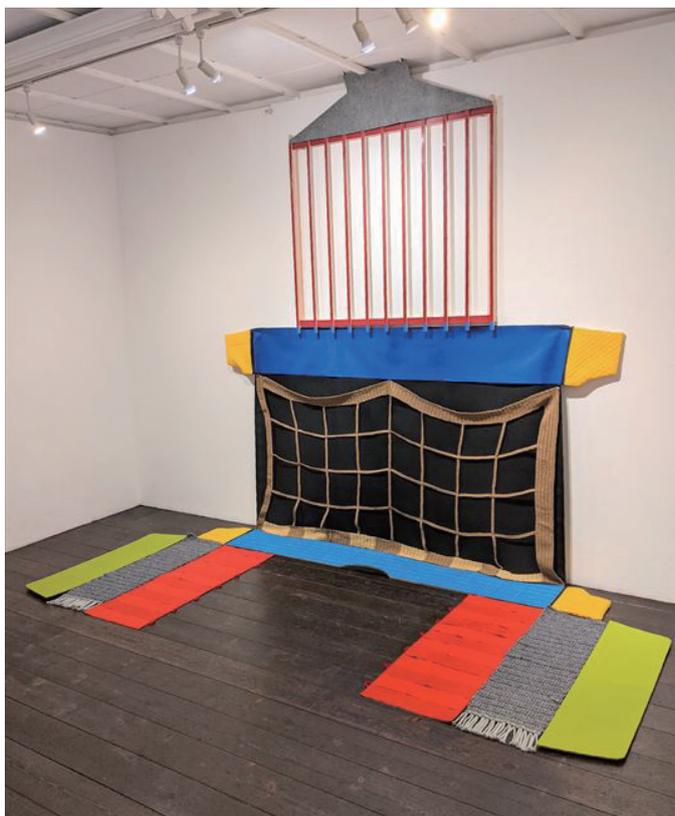
グッズ・バイ
Goods-by

アーティスト・ステートメント

繰り返し見ている光景は日常に飲み込まれていき、特別な時間も形式のなかに収まればだいたいみんな同化していく。あらゆる認識で散らばった物事をあつめて、模っていく。触れているとそれぞれの立場が変動し始めるように感じる。作り出されたハリボテには固まった意味や価値観を崩し、様々な物事を平等にしてくれるような安心感がある。



SWAN_orange
2023 布、フェルト、糸、スナップボタン
103.0×158.0cm
撮影：寺岡海



LIVING
2022
フェルト、毛糸、ダンボール、ボール紙、キルト
布、
手芸紐、木材、アクリル絵の具、他
276×240×125cm



『広がりの灯し』展示風景
2024



my kitchen
2022
木板、ボール紙、毛糸、フェルト、手芸紐、アクリルカラー、他。
91.3×50×3cm